

シルクロード

ウズベキスタン文化交流展

2005年3月11日(金)～13日(日)

10時～18時 ※写真展は19日(土)まで開催します

みなとみらい21

国際協力機構横浜国際センター
(JICA横浜)にて開催!

文化展 その1

ナボイ劇場

首都タシケントにある国立オペラ劇場で、旧ソ連に強制連行された抑留者が1945年～47年まで約2年間にわたり建設し、その間捕虜でありながら勤勉さ、真面目さ、器用さを現地の人達が知り、敬意の目でみるようになり、その後2度の大地震で市内のすべての建物が崩壊したが、ナボイ劇場だけは、ほとんど被害なく立っていて「あの日本人たちが作った建物だけはつぶれなかった、すごい日本人」という話が広まり、今日に至っている。



ナボイ劇場

常設展示 3月11日～19日

シルクロードの日本人伝説「ナボイ劇場建設秘話」

- ウズベキスタンのタシケントには「日本人捕虜が建てた」と呼ばれるナボイ劇場があります。この劇場と日本との関わりについてパネルにより展示します。
- テレビのウズベキスタン特集「劇場を建てた日本人」(VTRの放映)

渡辺 豊 写真展

- 抑留旧日本兵の一人として直接「ナボイ劇場」建設を経験され、戦後何度かウズベクを訪れたときの作品です。現在静岡市で写真店を経営。

講演/シンポジウム 3月12日 [参加費:1,500円(協会員1,000円)・定員:100名]

(裏面の様式にご記入の上、協会事務局へFAXでお申込み下さい)

第1部: 14時～15時30分 蔦 信彦 (ジャーナリスト・当協会会長) による講演

「シルクロードの日本人伝説・ナボイ劇場建設秘話」

- 当協会設立の一つの要因となった秘話をご紹介します。

第2部: 15時40分～17時 「シルクロードで働く青年/シニアのボランティア」

- 中央アジアで青年海外協力隊員として活動された人の体験談と留学生を交えてのシンポジウム。

常設展示 3月11日～19日

萩野矢慶記 写真展 「ウズベキスタンの風景」

- 日本各地で開催しました「ウズベキスタン シルクロードのオアシス」展の作品の一部を展示します。

ウズベク伝統工芸品の展示

- 大使館及び会員提供の民族衣装・工芸品の展示。

留学生・大使館員との交流会 3月13日 [交流パーティのみ、参加費:1,500円(協会員1,000円)・定員:70名]

13時30分～14時10分 簡単なウズベク語会話

- 気楽に参加して旅行用会話を練習しましょう!

14時30分～16時 シンポジウム「留学生・OBの日本生活体験談」

- 留学生達が日本語で話します。

16時30分～18時 交流パーティ (裏面の様式にご記入の上、協会事務局へFAXでお申込み下さい)

- 留学生・大使館員と家族の人達との触れ合い、留学生がウズベクダンスを踊ります。

文化展 その2

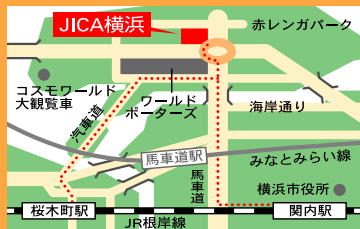
その他の催し

写真展・工芸展でウズベクの文化に触れて、留学生との会話・ダンスを楽しむ、そして交流パーティで留学生・大使館員と交流をしませんか?



ウズベキスタンとは?

日本から約5,700km、シルダリヤ川とアムダリア川に挟まれた中央アジアの心臓部であり、そして中央アジア観光の中心でもあり、シルクロード上の価値ある遺跡の約半数以上が残っています。国土の大半はキジルクム砂漠に覆われていますが、東部には天山山脈の枝脈が迫り、町には緑豊かな街路樹が立ち並びます。天然資源の宝庫でもあるこの国では金や天然ガスが採れ、中でも綿の生産量は世界第四位を誇り、食器や町の壁などで綿花のモチーフを目にします。サッカーが人気のスポーツで、2006年ドイツW杯アジア予選に出場します。



JICA (ジャイカ) 横浜

〒231-0001 横浜市中区新港 2-3-1
Tel: 045-663-3251(代)

【交通のご案内】

- JR根岸線: 桜木町駅より徒歩15分
関内駅より徒歩15分
- みなとみらい線: 馬車道駅より徒歩10分

主催: NPO日本ウズベキスタン協会 共催: 独立行政法人 国際協力機構 横浜国際センター
後援: 在日ウズベキスタン共和国大使館、横浜市、財団法人横浜市国際交流協会
社団法人日本フードサービス協会、毎日新聞社